

英語情報発信・海外機関投資家調査 オプションプランのご案内

日経統合報告書アワードのご参加企業様限定で、Nikkei Asia（オンライン）を用いた英語での海外向け情報発信と、英文統合報告書の海外投資家による評価も知ることが可能となるプランを、本年新設しました。

企画内容：貴社の英文統合報告書表紙と紹介文を日本経済新聞社で英訳して掲載いたします。Nikkei Asiaのウェブサイト上に特設サイトを設置し、海外のステークホルダーへの情報発信を行います。特設サイトへの誘導には、Nikkei Asia内の各種誘導広告を活用します。



Nikkei Asiaの
各種広告枠より
特設サイトへ誘導

Nikkei Asia内日経統合報告書アワード
特設サイト

■標準プラン（プランA）：英文統合報告書の表紙と貴社の紹介文をNikkei Asia内特設サイトに3か月間（23年12月中旬～24年3月中旬）掲載いたします。ご参照・昨年度事例：<https://ps.nikkei.com/nir2022e/> 表紙データ、貴社の紹介文（和文/250字以内）、社名ロゴデータ、リンク先URLをご用意いただき、global.inquiry@nex.nikkei.co.jp までお送りください。

■調査付きプラン（プランB）：上記標準プランによるNikkei Asiaへの掲載に加えて、約16の在・海外機関投資家の協力のもと、1社あたり複数社が英文統合報告書に目を通し、優位性の向上に資する評価をフィードバックします。先着30社限定のプランです。※調査のみのプランはございません。

・英訳はプレイン・イングリッシュで行います

プレイン・イングリッシュとは

グローバル・コミュニケーションに必須の「効率的で・速く読め・理解しやすい」情報伝達術です。ただ単に日本語の情報を英語化するだけでなく、ガイドライン*に沿ってライティングを行い、誤解なく、明確に説明することで、読み手は適切な判断を下し、行動することができ、読み手から共感を得ることができます。アメリカ、イギリスでは1979年に政府主導で、2019年にはISOが国際標準として、プレイン・ランゲージを規格化することを採択し、標準化を進めています。また1998年には米国証券取引委員会（SEC）によって、企業が開示する資料をプレイン・イングリッシュで書くための指導と手引きが発行されています。*能動態や肯定形の使用など

・調査枠組みについて

- ・海外投資家は、欧米を中心にアジアを含む日本国外在籍者を対象にし、Institutional Investor Researchに調査依頼します。
- ・評価項目は、1 - 10といったスケールにて評点をつけ、優位性向上につながる定性的なコメントもごございます。
- ・調査結果は2024年3月下旬～4月上旬で英語にてご参画企業それぞれにお渡しいたします。

オプション料金：

- プランA：日経統合報告書アワード参加料金+200,000円（消費税別）
- プランB：日経統合報告書アワード参加料金+450,000円（消費税別）

お申込締切： 2023年11月1日（水）

お問合せ先：global.inquiry@nex.nikkei.co.jp

※統合報告書アワード本審査申込サイト入力後、自動返答でお送りするURLより申込企業の管理サイトにお入りの上、ご希望のオプションのボタンをお選びください。

オプションプラン 海外機関投資家調査について

調査付きプラン（プランB）にご参加いただく企業様の英文統合報告書は欧米を中心としたアジアを含む約16の在・海外機関投資家から評価されます。

1つの英文統合報告書に対して複数社がチェックし、優位性向上に資する評価レポートを英文にてフィードバックさせていただきます。

【評価項目】

評価者はオンライン上で日経統合報告書アワード2023の1次審査基準と同じ下記の項目について、同じチェックポイントを基準に1-10のスケールで評点をつけ、それぞれの項目に対して評点をつけた理由をコメントいたします。

- ① トップマネジメントのメッセージ
- ② 企業価値創造を実現するための企業理念（パーパス・ミッション・カルチャー・バリュー・ビジョン）の記述
- ③ 自社固有のマテリアリティの抽出と時系列（短・中・長期）を意識した価値創造プロセスの提示
- ④ 自社の経営資源（各種経営資本）の冷静な分析と中長期経営目標・戦略（ビジネスモデルの変革含む）に関する記述
- ⑤ 企業特性に合った重要な経営目標指標（ESG項目含む）の抽出とKPIの提示と成果の公表
- ⑥ 投資家の分析に必要な財務情報・財務関連情報が記述されているか
- ⑦ 中期的業容の展開にあたり説得力のある資本配分政策・財務政策・事業ポートフォリオ管理の記述があるか
- ⑧ ESGのうち「環境関連」情報の記述と企業価値関連性への言及
- ⑨ ESGのうち「社会関連」情報の記述と企業価値関連性への言及
- ⑩ ESGのうち「コーポレートガバナンス・システム」の高度化が窺える記述があるか

【評価者回答画面イメージ】

On a scale of 1 (very bad) to 10 (very good) please rate the following attributes

1. Message from top management

A) Is the message specific and does it convey enthusiasm towards corporate value creation?
B) Does the message objectively recognize the issues facing the company?
C) Does the message touch on the responsibility and roles of top management?
D) Does the message touch on the operating environment and status of management for the most recent year?

10 = very good
1 = very bad



Why did you choose this rating?

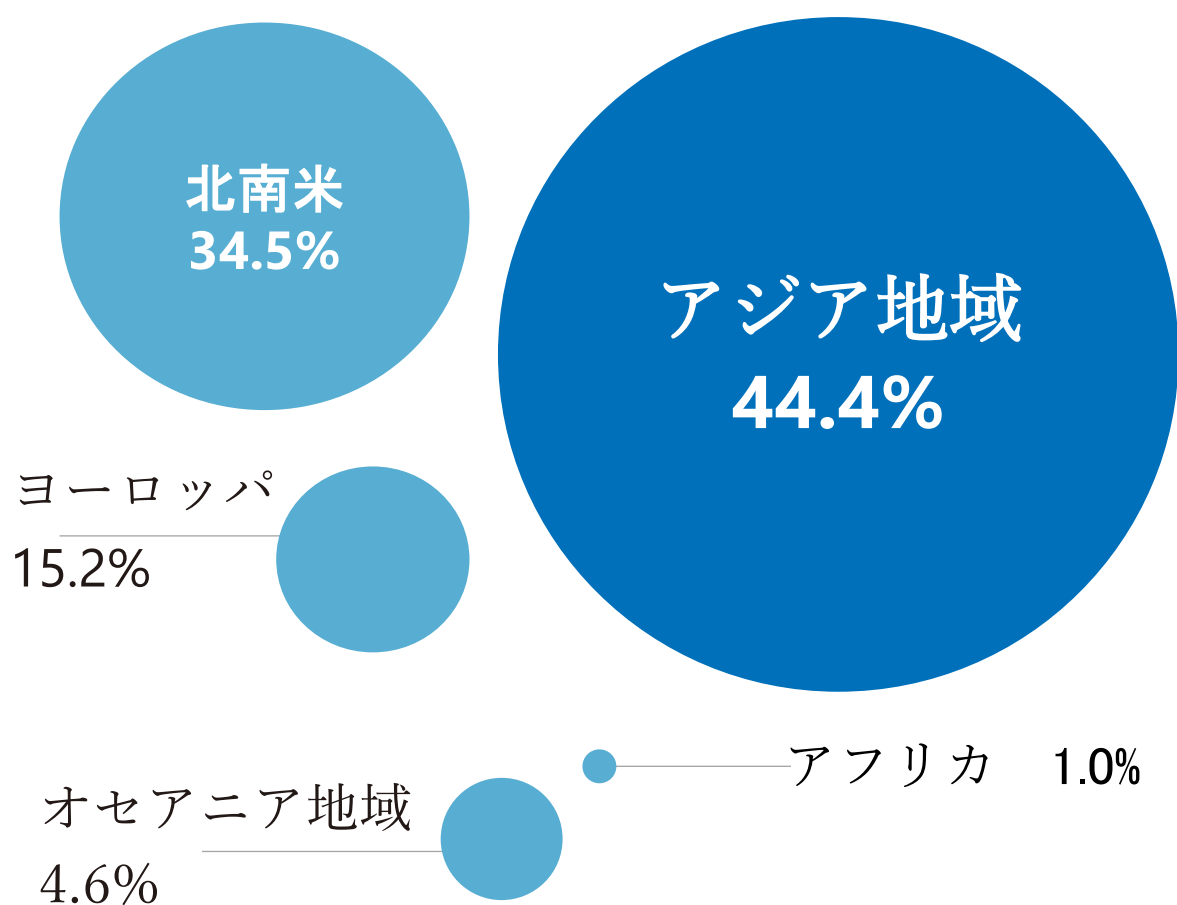
NIKKEI Asia

The voice of the Asian century

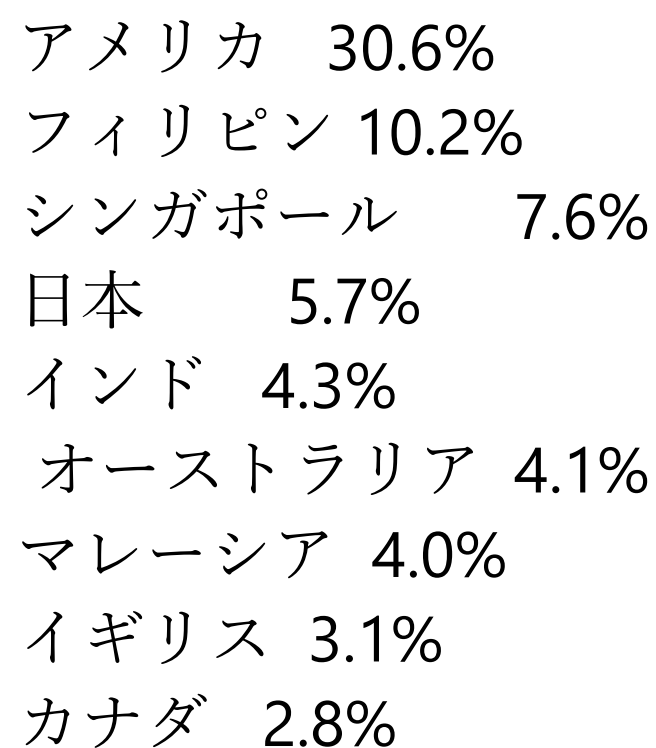
Nikkei Asiaは、2013年秋に創刊（創刊時の名称はNikkei Asian Review、2020年秋に改称）されたウェブと雑誌両方でご覧いただける媒体です。アジアにおける優れた報道を表彰するアジア出版者協会賞（The Society of Publishers in Asia's Awards）を通算8回受賞するなど、その報道は高い評価を得ています。

実際、21年6月に米国ホワイトハウスが発表した「供給網に関する報告書」において、Nikkei Asiaの記事が複数引用されており、記事内容に対する高い信頼、評価を得ている証左と言えます。

【読者の地域別分布】

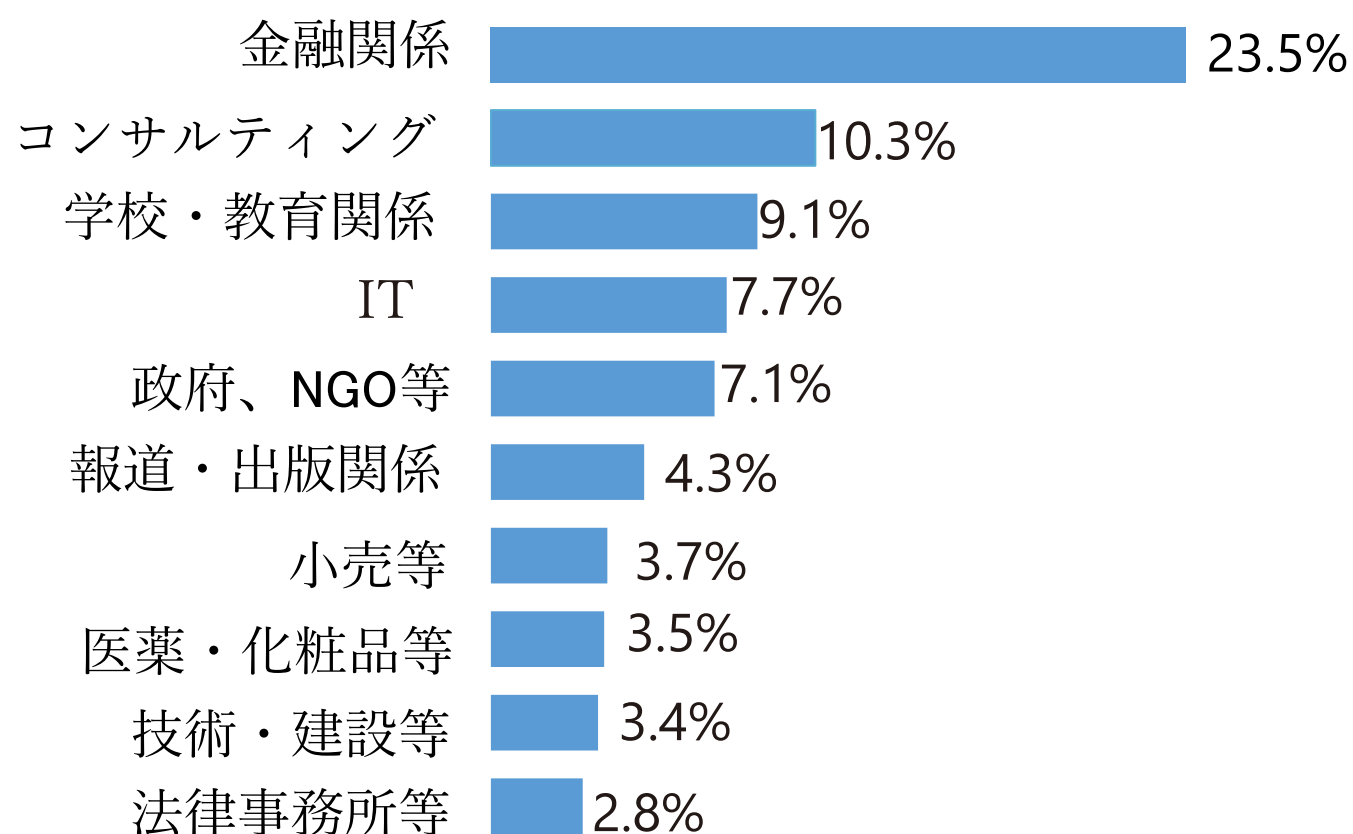


【読者の国別top10】



※出典：Google Analytics Report
Jan 1st – Dec 31st, 2022 Monthly Avg.

【読者の勤務先業界】



【読者の職業top10】

